

(小学校1年生～3年生用)

いちばすいぞくかんじぜんがくしゅうしりょう

市場水族館事前学習資料

コツメカワウソ・ペンギン・ケヅメリクガメ

せとないかい

瀬戸内海について

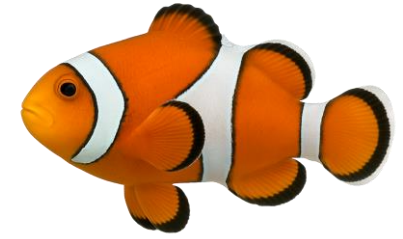
いちばすいぞくかん



市場水族館

Yashima Aquarium

水族館^{すい ぞく かん}には、ふしぎ^いでおもしろい生きものが
たくさんくらしています。



およぐことがとくいな生きもの、からだのかたちがとてもめずらしい
生きもの、なきごえでなかまにあいずをおくる生きもの...。
ひとつひとつの生きものには、みんなちがったひみつや
くらしかたがあります。

水族館^{すい ぞく かん}で^であ^あうどうぶつたちは、どんなすがたをしていて、
どんなくらしをしているのでしょうか？

すがたやうごきをよーく^み見て、「どうしてかな？」
「なに^{かんが}をしているのかな？」と^{かんが}えてみましょう。

きっと、^{あた}ら^{はつ けん}新しい発見が見つかるかも！
それでは水族館^{すい ぞく かん}へ行く^い前^{まえ}に^{すこ}少しだけ^{どう ぶつ}動物さんたちをごしょうかい！



コツメカワウソ

コツメカワウソは、世界でいちばん小さいカワウソです。
体の長さは40～60センチくらい、体重は3～6キロほどしかなく、
ネコと同じくらいの大きさです。

名前の「コツメ」は、指のつめがとても小さいことからつけられました。小さな体でも元気いっぱい、水の中をすいすい泳ぎ、
魚やエビを食べてくらしています。

コツメカワウソは手先がとても器用で、えさをにぎって食べることが
できます。すいぞくかんでは、おもちゃや石を手でつかんで
コロコロころがしたり、水に入れて遊んだりすることも見られます。
そのようすはとてもかわいらしく、見ている人を楽しい気持ちに
してくれます。また、仲間とは「キューキュー」という声でおしゃべり
します。しかし、大人になると性格が強くなり、けんかをするこ
ともあります。自然の中では、それぞれが自分のなわばりを大事に
してくらしているのです。

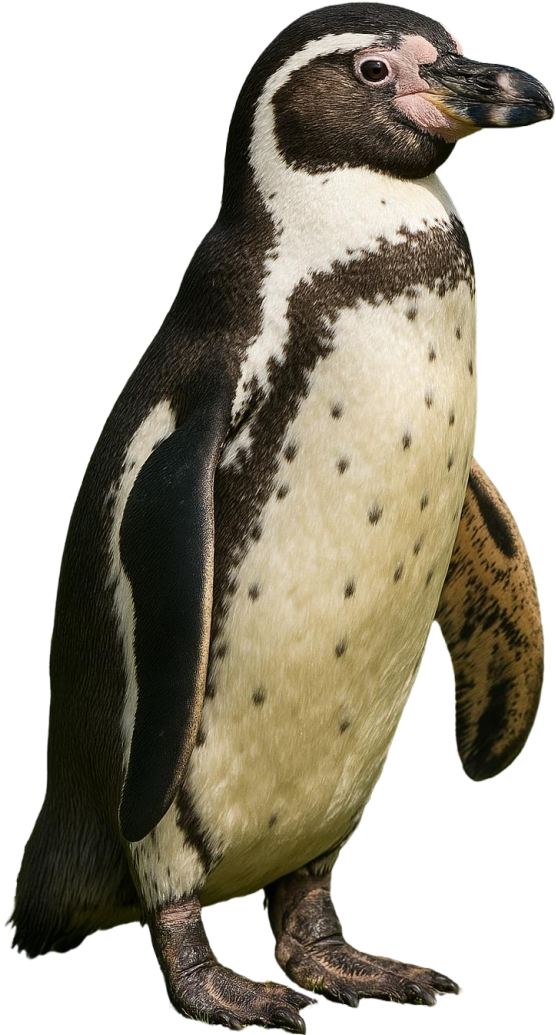
チェックポイント★

市場すいぞくかんにいる
コツメカワウソは、みんな
家族だよ！お父さんとお母さんは
どこにいるかわかるかな！？

答えは飼育員さんに聞いてね！



フンボルトペンギン



ペンギンは鳥の仲間ですが、空をとぶことはできません。
そのかわりに、水の中を泳ぐことがとても得意で、体をすいすい動かして魚を追いかけます。

速いペンギンは、時速30kmくらいで泳げるといわれており、まるで水の中のレーサーのようです。

ペンギンの体は、黒と白の色をしていて、まるでタキシードを着たように見えます。この色は、上から見ると黒で海にとけ込み、下から見ると白で空にとけ込むため、敵から身を守る工夫にもなっています。

ペンギンは南極の氷の上にすむ種類だけでなく、あたたかい国にすむ種類もあります。例えば「ケープペンギン」は南アフリカに、「フンボルトペンギン」は南アメリカにくらしています。

子どものペンギンはふわふわの毛におおわれていて、とてもかわいい姿をしています。卵をあたためる方法は種類によってちがいますが、多くのペンギンはお父さんとお母さんが交代で卵を守り、ヒナを大切に育てます。

チェックポイント★

ペンギンさんたちは
顔がにているから、飼育員さんが
わかるようにくふうされているよ！
どことなくがされていると思う？

答えは飼育員さんに聞いてね！

ケヅメリクガメ

ケヅメリクガメは、アフリカのサハラ砂漠の^{さ ばく まわ}周りにすんでいる、とても大きなリクガメです。

リクガメの中でも特に大きく、オスでは体の^{なか とく からだ なか}長さが70センチくらいになることがあります。

体重^{たいじゅう}は40キロをこえることもあり、人がだっこ^{ひと}するのはむずかしいほどです。

名前の「ケヅメ」は、足のつけ根^{な まえ あし ね}にあるトゲのような^で出っばりのことをさしています。

歩くときは「のっしのっし」とゆっくりで、まるで小さな恐竜^{ちい きょうりゅう うご}が動いているようです。

ケヅメリクガメは、草^{くさ}や野菜^{や さい}を食べる草食動物^{そうしょくどうぶつ}です。

とても長生き^{なが い}で、80年から100年以上生きることもあります。

水族館では、キャベツやにんじんなど野菜を^たおいしそうに食べる姿^{すがた}を見ることができます。

見た目は大きくて強^{つよ}そうですが、性格^{せいかく}はおだやかでやさしく、人におそいかかることはほとんどありません。

だからこそ「のんびりやさんで、長生きのともだち」と^よ呼ばれることもあります。



チェックポイント★

ケヅメリクガメは、あしのつけねに「けづめ」とよばれるトゲのような^で出っばりがあるよ。

どこにあるかわかるかな？

答えは飼育員^{しいくいん}さんに聞いてね！

瀬戸内海

チェックポイント★

瀬戸内海には、たくさんの生きものが
がすんでいるよ。水族館のなかで
「瀬戸内海の生きもの」を見つけ
られるかな？

しきくいん
答えは飼育員さんに聞いてね！

瀬戸内海は、本州・四国・九州にはさまれた、しげん豊かな大切な海です。
波があまり高くなく、昔から人々が船で行き来したり、魚をとったりして生活をささえてきました。

タイ、イワシ、タコ、カキなど、食べておいしい魚や貝がとれる場所としてもゆうめいです。

とくにカキは広島の名物として知られています（香川県では三豊や志度がゆうめい）

しかし、昔にくらべて海のかんきょうは変わってきています。

藻場（もば：海そうが生える場所）や干潟（ひがた：潮がひいたときにあらわれる土地）が少なくなり、
魚の数もへってきました。また、川から流れたごみやプラスチックが海に入り、生きものに悪いえいきょうを
あたえることがあります。

わたし
私たちができることは、ごみをすてないこと・見つけたらひろうこと・リサイクルをこころがけることです。
ひとりひとりが気をつければ、瀬戸内海をもっときれいにまもり、魚や生きものが安心してくらせる海にすることが
できます。

まとめ

- ・ コツメカワウソは、世界^{せ かい}でいちばん小さいカワウソ。手^てをじょうずにつかって、魚やエビ、キャットフード^たを食べます。
- ・ ペンギンは、空をとべない鳥^{とり}。でも水の中ではすばやく泳^{およ}ぐことができます。
- ・ ケヅメリクガメは、とても大きくて長^{なが}生きのリクガメ。足の「けづめ」がポイントです。
- ・ 瀬戸内海（せとないかい）は、たくさんの魚や生きものがくらす大切^{たいせつ}な海。でも、藻場（もば）や干潟（ひがた）が減^{もんだい}ったり、ごみの問題もあります。

水族館^{すい ぞく かん}で見たこと、気づいたことをおうちの人や友だち^{とも}にお話^{はな}してみよう。
生きもののひみつに気づくことは、自然^{し ぜん}を大切にする第一^{だい いっ ぽ}歩です。
みんなの「ふしぎだな、すごいな」という気持^{き も}ちが、未来^{み らい}の生きものたちを
まもっていきます。



市場水族館

Yashima Aquarium